

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	のびっこらんど原町（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 6日		～	令和8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 6日		～	令和8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 10日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間でコミュニケーションが取れており、情報の共有やプログラムの検討、支援に関するカンファレンス等、活発に意見交換が出来ている。	それぞれの視点での見立てを大切に多角的に子供の姿を見る事を意識している。それぞれに新しく取り入れて来た知識や情報をすぐに現場に取り入れるようにシマンネリ化しないよう意識している。	お互いに協力する体制が崩れないよう、話出来る場や雰囲気作りに留意し、チーム力を向上させていく。
2	活動プログラムの中で、実際に食べ物に触れる機会を多く持っている。	毎年取り組みを継続できるよう企画・実施している。偏食が強いお子さんや食に興味の薄いお子さんが実際に食材に触れ、調理する事で興味を持ちやすい環境を設定している。一緒に食べる空間も共有する事で、楽しい経験になるようにしている。	食への興味と共に社会的なスキルも向上できるよう、外出、買い物などの機会を行っていく。
3	他機関と連携を図り支援に取り入れている。	児童クラブとの連携や他事業所への移行サポートなど情報の共有を図っている。	継続して良い連携が図れるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	市街地より離れており、買い物や外食の他、公共の場を利用した活動に取り組みにくい。	受け入れ対応できる人数が限られている為、1回の行事で参加出来ず人数が少なくなってしまう。	利用児からの希望に添えるよう計画的に企画していくようにする。夏休み期間等、活動に合わせ利用時間を柔軟に変更し社会訓練が多く経験できるようにしていく。
2	学童児の利用枠が多く確保できない。	未就学児の枠を多めに確保する形で事業を展開しているが、1日の利用人数に制限がある為、学童児の希望に沿った日数は枠を確保出来ない。	未就学児期よりお子さんの正しい理解や関係機関との連携方法などを保護者様と一緒に考えながら、療育の必要性の見極めをサポートしていく。利用終了に向け計画的に利用出来るようにしていく。
3	小学校との連携が少ない。	小学校終了後の時間帯が療育時間帯と重なる事から、連携が取りづらい状況がある。	スタッフ間で協力し、小学校と情報の共有や対応に関する相談など連携を図る時間が確保できるようにしていく。